

原料費調整制度に基づく都市ガス料金単価の調整について (2016年12月 検針分)

2016年7月～2016年9月のLNG及びLPGの貿易統計値が発表されました。
原料費調整制度に基づき、基準単位料金を調整させていただきます。

2016年12月 検針分の単位料金は2016年11月 検針分 に比べて、1m³(45MJ)当り
+ 1.09 円(消費税込)、標準家庭(26m³)では月額 + 28 円の調整を行うこととなりました。

●一般ガス供給約款料金における調整単位料金

(消費税込)

	単位	2016年11月 (A)	2016年12月 (B)	(B)-(A)
A料金表 (0m ³ ～24m ³)	円/m ³	208.07	209.16	+ 1.09
B料金表 (24m ³ を超える)	円/m ³	150.08	151.17	+ 1.09

●平均原料価格

	単位	2016年6月 ～ 2016年8月	2016年7月 ～ 2016年9月	基準平均原料価格
LNG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	34,120	35,540	
LPG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	36,970	35,580	
平均原料価格	円/トン	34,410	35,690	46,100

平均原料価格 = LNG平均価格 × 0.9541 + LPG平均価格 × 0.0502

(10円未満端数四捨五入)

※平均原料価格が73,760円以上となった場合は73,760円

原料価格変動額 = 基準平均原料価格 - 平均原料価格 (平均原料価格が基準平均原料価格未満のとき)

= 46,100 - 35,690 = 10,400 円/トン

(100円未満端数切捨て)

●調整単位料金の算定

平均原料価格が基準平均原料価格未満のとき

調整単位料金 = 基準単位料金 - 0.084 × 原料価格変動額 ÷ 100円 × (1 + 消費税率) (小数点第3位以下の端数切捨て)

	単位	(A) 基準単位料金	(B) 2016年12月 検針分 調整単位料金	調整額 (B)-(A)
A料金表 (0m ³ ～24m ³)	円/m ³	218.60	209.16	▲ 9.44
B料金表 (24m ³ を超える)	円/m ³	160.61	151.17	▲ 9.44

●標準家庭のご使用例(1ヶ月分)

1ヶ月分使用量(m ³)	(A) 2016年11月	(B) 2016年12月	影響額 (B)-(A)
26	6,033	6,061	+ 28

計算式・・・基本料金(税込) + 調整単位料金(税込) × 使用量 (1円未満の端数は切り捨て)